

DEMONS IN PARADISE

(2017年 スリランカ・フランス)

『楽園の悪鬼たち』

ジュード・ラトナム監督

上映会&トークイベント 全会場参加無料・一般参加歓迎

環インド洋地域研究東京大学拠点 (TINDOWS)・同京都大学拠点 (KINDOWS)・西南学院大学 共催

東京

2023/12/2 [土]

15:00 - 17:30

東京大学駒場キャンパス

京都

2023/12/5 [火]

17:00 - 19:30

京都大学吉田キャンパス

広島

2023/12/6 [水]

19:00 - 21:30

オルタナティブスペース・コア

福岡

2023/12/8 [金]

10:40 - 13:10

西南学院大学 チャペル

世界各地で、日常生活のなかで、わたしたちが経験する分断・対立

その根底にある、一人ひとりの内に宿る根源的な恐れ (fear)

ジュード・ラトナムはこれを「悪鬼 (demon)」と呼ぶ

取り憑かれた者は、暴力、殺戮、殲滅へと突き動かされる

特定の地域・時代の出来事の本質を見つめることで、

自身の内なる「恐れ」が揺さぶられる時、

楽園スリランカの悪鬼たち (Demons) はわたしたちの問題となる

DEMONS IN PARADISE

『楽園の悪鬼たち』

(2017年 スリランカ・フランス)

ジュード・ラトナム監督

上映会&トークイベント 全会場 参加無料・一般参加歓迎

環インド洋地域研究東京大学拠点 (TINDOWS)・同京都大学拠点 (KINDOWS)・西南学院大学 共催

東京 [TINDOWS 主催]

詳細・申込▶



2023年12月2日 [土] 15:00-17:30

東京大学駒場キャンパス (東京都目黒区駒場 3-8-1)

アドミニストレーション棟 学際交流ホール

通訳: 中村沙絵 (東京大学)



◀詳細・申込

[KINDOWS・TINDOWS 共催] 京都

2023年12月5日 [火] 17:00-19:30

京都大学吉田キャンパス (京都市左京区吉田本町)

国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール

通訳: 菊池真理 (津田塾大学)

広島 [TINDOWS 主催]

詳細・申込▶



2023年12月6日 [水] 19:00-21:30

オルタナティブスペース・コア

(広島市中区基町 19-2-448 基町ショッピングセンター内)

対談者: 東琢磨

通訳: 菊池真理 (津田塾大学) 司会: 清水加奈子



◀詳細・申込

[西南学院大学・TINDOWS 共催] 福岡

2023年12月8日 [金] 10:40-13:10

西南学院大学 チャペル (福岡市早良区西新 6-2-92)

対談者: 石原真衣 (北海道大学)・菊池真理 (津田塾大学)

通訳: 初見かおり (西南学院大学)

司会: ロランス・シュヴァリエ (西南学院大学)

『Demons in Paradise (楽園の悪鬼たち)』

(2017年 スリランカ・フランス)

かつての植民地支配はその後のスリランカに多くのものを遺した
搾取の構造、“民族”による分断、そして人々の中にはびこるようになった怖れ (fear)、内戦—

1983年、“民族的マイノリティ”であるタミル人と、シンハラ人の暴徒による衝突から、
スリランカは26年にもわたる内戦に突入した

肅清、戦闘、空爆、避難、強姦—

2009年に終結するまで内戦は多くの犠牲を出し、今もその傷は人々の中に深く残る

「楽園」であるはずの子供時代を内戦の渦中で過ごしたジュード・ラトナム監督
内戦の傷口と向き合うことで怖れと対峙し、監督自身が誕生していく過程を追ったドキュメンタリー



ジュード ラトナム Jude Ratnam

スリランカ・コロンボ生まれ。5歳の時にスリランカ内戦が勃発。
家族とともに北部に避難した経験をもつ。

「Demons in Paradise」(2017年)が初の映像作品。

映画の評価と公開

ラトナム監督が10年かけて完成させた本作は、2017年
カンヌ国際映画祭においてプレミア上映され、40以上の
国際映画祭に出品された上に、いくつかの賞を贈られるなど、
国際的に高い評価を受けました。

しかし、一部の映画祭では上映中止になり、またスリランカ国内では一般上映されませんでした。
その理由は、本作が内戦を扱っているために政治的な作品として忌避されたからなのか、またはその内容が、
多くの人にとって否定したいような「怖れ」を照らしだすものだからなのか、分かりません。

こうした経緯をもつ作品だからこそ、監督は今回の上映会とトークイベントによって多くの方が作品を
観て、監督自身が観客の皆さまとコミュニケーションをとることを楽しみにされています。



上映会・トークイベント

[参加無料・一般参加歓迎]

今回のラトナム監督の来日と上映会・トークイベントは、スリランカについて研究する日本の
文化人類学者たちとラトナム監督の縁がきっかけとなり企画されました。

本作品は別の邦題を付けられ日本でも配信されていますが、今回の上映会では、可能な限り監督の
意図を損なわないように、新たに邦題と日本語字幕を付けたものを上映します。

また、広島会場では、音楽・文化批評家でありヒロシマ平和映画祭の実行委員もされてきた東琢磨氏、
福岡会場では、文化人類学者の石原真衣氏およびスリランカ内戦の研究者である菊池真理氏とラトナム
監督との対談を予定しています。

ラトナム監督が強調するのは、この作品を「スリランカという特定の地域の不幸な物語」として観る
のではなく、作品を通して誰もが内にもつ「怖れ」を見つめる機会として欲しいということです。
「スリランカ」、「南アジア」、「内戦・紛争」といったキーワードに興味をもたれる方だけでなく、
より多くの方に作品を体験していただき、ラトナム監督の言葉に触れていただく機会になることを
強く願っています。

※映画音声: タミル語・シンハラ語・英語 (日本語字幕あり)

※トーク使用言語: 英語 (逐次日本語通訳あり)

イベントの最新情報は
X (twitter) を
ぜひご覧ください

